



熊谷市立江南中学校

地震発生対策ガイドライン

地震

- 【基本方針】①生徒の無事を確認し、常に冷静な行動で安全な場所（避難場所）に避難させる。
 ②施設・設備の被害状況等を点検し、状況に応じて適切に対処し、教育委員会へ報告する。
 ③学校との連絡方法の確認を徹底する。学校運営協議会委員、江南地区次々回連合会長の連絡も同様とする。
 ④登下校時では、学校に向かうか否かの判断する地点を決め、その地点を基準として判断する。
 ⑤登下校時における避難場所については、江南南小及び江南北小との連携のあり方を確認する。
 ⑥地震発生翌日、登校できない場合は、原則として自宅待機とする。
 ⑦日常の教育活動を通して、地震の脅威の諸課題等について認識し、緊急地震速報時は、自らの判断で危機回避行動のできる生徒を育成する。



小

地震の揺れの大きさ	初 動 対 応 マ ニ ュ ア ル
震度3以下 - 被害報告なし。 - 一部の人は身の安全をはかろうとする。	①生徒の安全確保 ②被害状況に応じて、生徒の「避難場所」への避難及び安否の確認 ③平常通りの授業を実施 ④施設設備の点検 ⑤下校時の安全への留意を促しつつ通常下校。 
震度4 - 被害報告なし。 - 多くの人が身の安全をはかろうとし、一部の人は、行動に支障を感じる。 - 書棚の本が落ちることがある。 ※テレビやラジオ、インターネット等の情報に注意する。	①生徒の安全確保 ②生徒の「避難場所」への避難及び安否確認 ③江南中学校地震対策本部の設置（職員役割り分担 今後の対策案） - 平常通りの授業 又は 授業を打ち切り - 下校時の安全への留意を促しつつ通常下校、または一斉下校。 ④保護者への生徒の安否情報の提供（連絡網及び防犯メール等） ⑤学校評議員、江南自治会連合会長への生徒の安否情報の提供 - 通常の授業または、授業を打ち切る。 - 下校時の注意をし、通常の下校または地区別に一斉下校させる。 ⑥教職員による一斉下校指導。 ⑦施設設備の点検を行い、市教育委員会に報告する。 ●小学校からの要請により、小学校教師と小学生の下校誘導に協力し下校する。 
震度5弱以上 - 被害報告あり。 - 多くの人が行動に支障を感じる。 - 棚の食器類や書棚の本の多くが落ちる。 - 立っていることが困難になる。 - ガス・水道の供給が停止したり、停電したりすることがある。 ※テレビやラジオ等の情報に注意し、熊谷市の消防計画に従って行動する。	①生徒の安全確保 ②生徒の「避難場所」への避難及び安否確認 ③江南中学校地震対策本部の設置（職員役割り分担 今後の対策案） - 授業を打ち切り - 保護者へ連絡確認 - 留め置き場所の確認 - 学校周辺及び通学路上の安全確認ができ、保護者等への連絡がとれたら生徒は下校。とれない時は留め置き保護継続及び引取確認。 ④保護者への生徒の安否情報の提供（連絡網及び防犯メール等） ⑤学校評議員、江南自治会連合会長への生徒の安否情報の提供 ⑥臨時休校等の措置。 ⑦施設設備の点検を行い、市教育委員会に報告する。 ●避難所開設への協力【指定避難所は、江南北小、江南南小】 - 江南中学校は補助避難所になる（毛布類は1階和室に） - 体育館等の避難スペースの確保と受入の準備 ●自治会安否確認への協力・小学校避難所開設への協力 【自宅帰宅後、各家庭の判断で協力支援】 

大

★電話や防犯メールが不通になる場合は、NTTの災害用伝言ダイヤル（171）を使用して、学校からの伝言を聞いてください。番号の覚え方は、忘れてイナイ（171）

災害伝言ダイヤル（171）で学校からの伝言を聞く方法

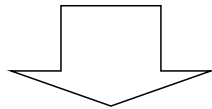
- 『171』をダイヤルする。〈ガイダンス〉こちらは災害用伝言ダイヤルセンターです。
録音される方は『1』、再生される方は『2』・・・してください
 - 『2』をダイヤルする。〈ガイダンス〉被災地の方は、連絡を取りたい電話番号を、市外局番からダイヤルする。被災地以外の方は、連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルする。
 - 『048-536-1335』（江南中学校の電話番号）をダイヤルする。
- ◆学校の被害状況により電話類が使用できず、学校の伝言が録音できない場合もありますのでご了解ください

緊急地震速報 発報の対応

緊急地震速報発報

A 震度3以上の場合は、
緊急放送による指示を行う。

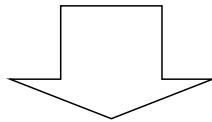
B 震度3未満の場合は、放送
指示を行わず、経過観察する



放送指示

※ 緊急地震速報がありました。避難路を確保し、強い揺れに備えて机の下に1次避難し、安全確保して下さい。

- (職員室) 震度の大きさにより、一人が職員室から緊急放送を流す。
他の職員は、机の下に一次避難する等、回避行動をとる。
- (各教室) 生徒を静かにさせ、放送による指示を聞かせる。
「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所に、
生徒を誘導する。
避難路(教室等のドアを開ける・カーテン閉)を確保する。
生徒だけではなく、先生方も回避行動をとる。



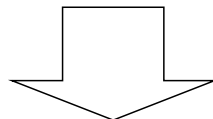
地震発生

A 地震が発生しました。
余震の恐れがありますので、
先生の指示に従って、2次避難
を行って下さい。
先生方、生徒を安全に誘導し
て下さい。

B 地震が発生しましたが、安全
が確認できました。
1次避難を解除します。

活動を再開して下さい。

(各教室) 生徒に避難経路・指定場所を指示する。



避難誘導(2次避難)

(各教室) 「押さない・かけない・しゃべらない・もどらない・近寄らない」
に気をつけながら避難誘導させる。